

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成25年7月25日(2013.7.25)

【公開番号】特開2012-76376(P2012-76376A)

【公開日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-016

【出願番号】特願2010-224036(P2010-224036)

【国際特許分類】

B 41 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 41 J 3/04 101Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月11日(2013.6.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

前記修正手段は、描画する画像のドット配置データを修正することを特徴とする請求項2又は3に記載のインクジェット記録装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項8】

前記読取手段が、一定の読取周期、読取時間で読取動作を行って、前記用紙搬送手段によって搬送される用紙から画像を読み取る読取手段であって、

前記読取手段によって画像が読み取られる時の前記用紙の搬送速度を読取時用紙速度として検出する読取時用紙速度検出手段と、

前記読取時用紙速度に応じて設定される所定の補正関数を用いて読取画像を補正することにより、読取時用紙速度の変動によって生じる読取画像のボケを補正する読取画像補正手段と、

を備えたことを特徴とする請求項1～7のいずれか一項に記載のインクジェット記録装置。

。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項18

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項18】

前記読取手段が、画像を周期的に読み取る読取手段であって、

前記読取手段によって画像が読み取られる用紙を照明する照明手段と、

前記読取手段によって画像が読み取られる時の前記用紙の搬送速度を読取時用紙速度として検出する読取時用紙速度検出手段と、

前記照明手段の発光動作を制御する発光制御手段であって、前記読取手段の読取周期に同期させて前記照明手段を間欠的に発光させ、各発光において、前記読取時用紙速度が遅

くなるに従って発光時間が長くなるように発光時間を制御するとともに、1読取周期内の発光光量の積算値がほぼ一定になるように発光光量を制御する発光制御手段と、を備えたことを特徴とする請求項1～7のいずれか一項に記載のインクジェット記録装置。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項20】

前記読取時用紙速度検出手段は、前記用紙に一定の距離間隔で記録された所定の読取時用紙速度検出マークを読み取ることにより、読取時用紙速度を検出することを特徴とする請求項8～18のいずれか一項に記載のインクジェット記録装置。

【手続補正5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項22

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項22】

前記読取時用紙速度検出マークは、インクジェットヘッドによって前記用紙に記録されることを特徴とする請求項20又は21に記載のインクジェット記録装置。